

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1（公共施設の利便性向上）</p> <p>・慢性的渋滞緩和と通勤通学時間短縮及び安定化を目指し、鉄道利用への転換を図るため、駅へのアクセス道路となる都市計画道路を整備する。</p>	<p>要素事業：道路（巢子駅線・巢子滝沢駅線）</p>
<p>整備方針2（地域交流拠点の充実と賑わいの再生）</p> <p>・鉄道、バス利用者等の利便性及び安全性の向上を図るため、相互利用者の結節点として駐車場、複合交通センター等を整備する。</p>	<p>要素事業：地域生活基盤施設（駐車場・駐輪場・広場） 要素事業：高質空間形成施設（障害者誘導施設等） 要素事業：地域創造支援事業（複合交通センター・駅舎）</p>
<p>整備方針3（定住化の促進）</p> <p>・脆弱な交通結節点の強化をすることにより住宅環境の質を高め、宅地未利用地への定住化を誘導することを目的として、駅周辺地域としての特性を生かせるようアクセス道路、駐車場等を整備する。</p>	<p>要素事業：道路（巢子駅線・巢子滝沢駅線） 要素事業：地域生活基盤施設（駐車場・駐輪場・広場） 要素事業：地域創造支援事業（複合交通センター・駅舎）</p>
<p>その他</p> <p>・施設等の計画にあたっては、地区住民や関係機関の代表で構成する[まちづくり検討委員会]で話し合いながら、交通結節点機能の向上等が図られるような施設を目指し、検討を重ねている。</p>	

菓子駅地区(岩手県滝沢村)整備方針概要図

目標	交通結節点としてのまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、バス利用者相互の利便性及び安全性等の向上による利用促進 ・交通手段を自家用車から公共交通に転換することによる主要道路の慢性的な渋滞の解消と所要通勤通学時間の短縮安定化 ・交通結節点機能強化による定住化促進 	代表的な指標	盛岡市中心部とアクセス時間(分)	42(平成16年度) → 13(平成21年度)
			鉄道駅利用者(人/日)	0(平成16年度) → 2408(平成21年度)
			区域内の人口(人)	8902(平成16年度) → 9170(平成21年度)

